

総括質疑

新たなまちづくりと
徴収率アップを

太田研光議員

(1) 3町の合併が破綻し、町は自立したまちづくりが求められることとなった。自立の形づくりも組織改編や建物名称の変更などによって成し遂げようとしていますが、そのために組織から疎外された人や、馴れ親しんだ名称変更で戸惑っている町民も多い。急がずに町民の立場に立つて実施されたい。

(2) 緩やかな景気回復の兆しが出てきていると言われながら、町税収入は前年度より2.3割も落ち込んでいる。

徴収の努力がされていると思うが、収入未済額が一般会計で約3億1千百万円、国民健康保険事業で約3億6千400万円と多額になっており、一層改善の努力をされたい。



答

自立した
まちづくりと
徴収の強化

滝口町長

(1) 税収が増える時代、まちづくりは行政指導でできたが、人が減り、歳入も減っている自治体ではすべての住民の要望を満たす力はありません。これを埋めるためには、

民間企業やNPO等に新たな公共サービスを担っていただかなければなりません。さらに、住民の意識を変えて行政への依存体質を断ち切り、自立した住民を育てていく必要があります。

(2) 町民の所得は、給与

職員が一致団結できる職場を

広沢 眞議員

相次ぐ給与削減提案や急激な機構改革による職員の労働意欲の低下、士気の低下が懸念される。

財政再建案に対する説明会も全職員対象に行われているが、職員の合意を形成できているのか疑問も残る。一層の一致団結しての取り組みが求められる中で、一人一人の意見が十分検討され、また、還元されていくことが重要であると考えます。

(1) 職員から出されていた意見要望に回答をしたのか。

(2) 人事評価制度や勧奨



答

職員の声を
聞く努力を
行っています

滝口町長

(1) 各課とのヒアリングを通じて検討し、今回提示した財政再建プランに盛り込んでいます。新たな財政再建プランに対しては、7月と8月に4回に分けて職員の説明会を行っています。

(2) 人事評価制度は、職員個人の能力向上と上司との面接を通じて意思の疎通がよりできやすく、勧奨退職制度は以前から実施してきて職員の意思に基づいて実施しており強制ではありません。さらに上司への提言、意見表明は規定に基づき庁内イントラネットを活用し、行っています。

(3) 職員ポータルサイトに会議室を設け、意見交換をしています。記名発言にしましたが、匿名でも可能になりました。

町議会ガイド

定期的な開かれる議会で、年4回、3月、6月、9月、12月に開催されます。

臨時会

定例会のほかに、必要に応じて開かれる議会で。

常任委員会

次の4つの委員会があり、各課等の事務調査や請願等の審査を行います。

総務常任委員会

総務課、企画財政課、まちづくり推進課、税務課、町民環境課、会計課、槻木事務所

文教厚生常任委員会

健康福祉課、子ども家庭課、教育総務課、生涯学習課

産業経済常任委員会

地域産業振興課、農業委員会、農政事務所

建設常任委員会

都市建設課、上下水道課